

# 幼 兒 教 育

第 二 十 三 卷 第 三 號



日 本 幼 稚 園 協 會

目次

表紙繪(リヒター)

卷頭

幼稚園經營者としての立場から……………西山哲治

ベスタロッチ先生の跡を訪ふ……………岸邊福雄

幼稚園改善の急務

「幼稚園改善の急務」を讀みて……………倉橋惣三

「幼稚園の理論及實際」より……………馬場定一譯

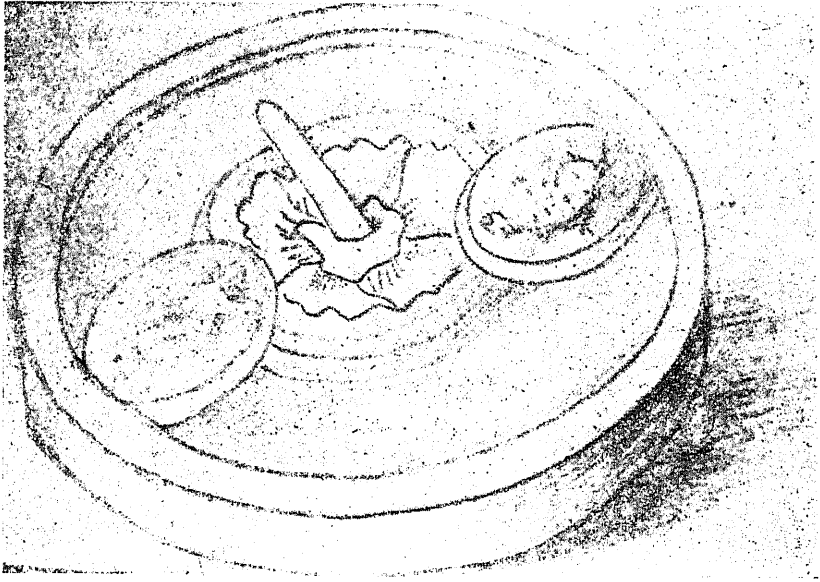
兒童就學に對する母親の注意……………竹村一

幼稚園に我が子を送て感じた事……………樫田千恵子

幼稚園要目

○三三三六録登案新用實

# 競 爭 獨 樂



この獨樂は圖の如く大きなのを威勢よく廻しておいて外に小さいのが二つあるから之を一つづゝ其上にのせると自轉しながら下の盤の縁に沿ふて公轉する、其の公轉の速度が龜の方が早いから兎に追ひ付いて、兎の下を潜つて先になる、又追ひ付いては下を潜つて先になる甘く廻しておけば八度位追ひ越す、見てゐても實に氣持が良い、追ひ越す度数を競争せしむれば則ち手指の練習が出来る。

定價 拾組 金 五 圓

東京 神田

株式會社 フレーベル館

最近謹製

熊本縣立第一  
高等女學校長  
吉田惟孝先生著

六版

定價 貳圓  
送料 拾五錢

# 新式教育の研究

## 唱歌教授改造の先

### 本邦唯一の實地研究書

現今我が教育界の中心問題はこの  
グルトン式自學主義教育だ  
今やグルトン式教育の外に殘さる  
教育家は近く時代の外に殘さる  
べし。著者一昨年の公命を帯び、  
歐米教育視察の途に就き、特に  
親しく英米のグルトン式教育實  
施の諸學校に就いて、最も熱心  
の篤實な研究を過り、此が故國  
に教育家に報告せしものが本書  
だ。先づグルトン報告をも、我  
かを發し、之れを解剖するに注  
意を發し、之れを如何なる注意  
に幾多の實踐的教案を示し、更  
に幾多の理論的教案を示し、實  
を述べ、理論的教案を示し、實  
實に書き纏めて、實際の教案を  
いれ、他は少くも、必要は、  
實地研究の結果なる反響を、  
育界に白熱的歓迎を受けること  
である。

# 動作の歌 歌の動作

優しい童謡可愛い動作  
此學年の兒童に試むべき新しき唱歌集！  
唱歌も、樂譜も、動作も優しくて藝術的  
あることを期し現代童謡大家の作品を福  
の直秋、藥田貞、草川信、松島彝、大和田愛  
の諸先生に作曲を乞ひ、動作は願ひ斯道  
を経験豊かな水谷式、生動作は願ひ斯道  
く一つの呼吸の作、式、生動作は願ひ斯道  
共に略つて、下歌、式、生動作は願ひ斯道  
に、歌、且つ踊ることが、新進教育家の間  
唱、教授改造の聲が、新進教育家の間  
呼ばれて、今日、歡迎されるのも當然で  
各方面の教育家から歡迎されるのも當然で

第一集 定價五拾五錢(送料四錢)

東京銀座三丁目廿壹區厚生閣發行





# 幼 兒 教 育

第 二 十 三 卷 ・ 第 三 號

春

春と共にあかるく  
春と共にやわらかく  
春と共にあたゝかく  
春と共にのびやかに  
春の如く開き  
春の如く解き  
春の如く包み  
春の如く育て

春に浴げ  
春に笑み  
春に歌ひ  
春に舞ひ  
春よ  
春に  
春を  
春と

## 幼稚園經營者としての立場から

帝國幼稚園長 西山哲治

帝國幼稚園を私が始めましたのは明治四十五年でありますから丁度十年と僅かで經驗としては淺い方であつて多くの經驗を持たるゝ方々の參考になる様なお話は出来ないが、この十年を通じて經營上困難なお話をして見ようと思ふ。

昨年であつたか東京市内で個人で幼稚園を建てて居る經營者及保姆達が麴町小學校に會合のあつた折も經營難と其の救濟法に就いて述べた事であつたが、實際單獨での經營は、經濟上苦しい立場にあると思ふ。假りに八十人又は百人定員としてこれを個人の經營ですると少くも二つの室で二十五坪、職員室、廊下、小使室、玄関の土間もいれて十坪以上、それに雨天保育室とか遊嬉室とかいふもの及用場とは少くも十五坪は要するとすると全部でどうしても五、六十坪の建物がなくては出来ない。それを今日新しく建てるとすると五十坪とみて、坪二百圓に近い建築費と其他に設備費として最少限度千五百圓と見て――

設備の充分を望めば上には上と限りないけれど――まづ建築費に一萬圓か一萬五千圓は少くも要される。

建築費が出来たとして次に、土地の問題であるが現在都會で土地を得るといふ事は非常に困難である假りに二百坪を買ふとして坪百圓づゝで二萬圓、買はずに借地としても今は地代が高くなつて來たので郡部ですら一坪の借地料が二十錢、三十錢である、それに初め借りる時は一年分を敷金として出さねばならぬから借りると云ふてもさう容易すくはゆかぬ。なほ又學校幼稚園等の營利的でない教育事業の爲めには進んで地所を安く貸すといふ様な同情を持た地主は殆ど無い、其間を地所の物色といふのはこれ亦非常に困難な事である。がまづこの難關も通り得て地所を購ひ百人を定員として幼稚園をはじめたとすると續出して起る希望は幼兒の遊園であつて、一人一坪として百五十坪か百六十坪を敷地として要



求する。坪三十錢で借りるものとして一ヶ月の地代が三十圓。それは幼稚園があらふと無からふ(休暇の時)と十二ヶ月拂はねばならぬものである。

扱幼稚園の収入としては、國家や他の團體の保護もないから、保育料を唯一の財源と見なさねばならない、市内では現在の所、二圓五十錢から三圓が一般の様であるが、假りに一ヶ月の保育料を三圓として、百人で三百圓、それで園のすべての事を爲うと云ふのでは甚だ不如意である。地代を始めとして、それ丈の建物とすれば火災保険料としても年に五十や百圓は要るし其他修繕費、消耗費とそれに園長の報酬とを合せて百五十圓か百圓はきりつめてもかゝる。残りの百二、三十圓を、幼児百人として四人の保母とすれば四、五十圓の俸給として二百圓は出さなければならぬ。とすれば三百圓の収入では四人の保母を頼むには不足である。それに幼稚園は中等學校や小學校とは違ひ此の年齢には病氣をし易いから全月缺席を豫想しておかねばならぬ、さういふ者に對しては月謝を徴收する事は出来ないとする。と保育料の實収入は在籍通りとは行かぬ。殊に冬季十二、一、二月は幼稚園幼児はお休みが多い、風邪

でも流行すればなほさらの事、百日咳、麻疹、水痘、おたふく風邪この季節に多く子供の侵かされる病氣である。又郊外のような道の悪い處は霜溶けで通園がむづかしく往復に成人の手を要するのでこの季節は長く休んだり、止したりするのが多い。又夏休み一ヶ月の間はこれ又保育料の徴收は出来ない。夏季一ヶ月或は二ヶ月の休暇と冬季三ヶ月の幼児の休み勝ちなのとに依て豫定の収入の半分又は三分一を減ずる事が十年の實際經驗から認めらるゝものである。寄附の方法をとつたらと云はるゝ人もあるが事實は大學や中等學校又小學校とは異り幼稚園に寄附をする様な人は殆ど無いと云ても良い位である、たまに多數の愛兒を托された附近の篤志家等の寄附あるがせいゝくである。

かような經營上の困難を如何にして切りぬけるかといふ事も幼稚園改善上大切な事であるが、それは云はゞ目の前の一時的の事であつて、それより基礎を確くするといふ事の方が根本的に必要な問題であると思ふ。所謂衣食足りて禮節を知るで月々の經濟が不足勝ちでは保育も不充分である。

我が國で大規模に幼稚園を經營されて居るのは大

阪であるが彼の地では市なり區なりが此の方面に留意と努力を盡し熱心に援助してゐる、が東京では市も區も大阪の様ではないのみか小學校二部教授すら全廢し得ず手まわりかねてゐるといふのが現状である。がこれではいけない當局が少し考へてもらいたい第一文部省はじめ幼稚園教育に對して留意が足らない、今から二十年も前には傳染病の媒介處とか早熟者の養成場とかいふ様に思つて批難攻撃こそすれ、發達援助など計る事は思ひもよらないことであつた。が時代の要求は益々幼稚園の必要を促して來た今日も少し進んで考へてもらいたい。或は市なり又は各區が協定してなり在籍何人の幼稚園に對してどの位、又は幼児一人についてどの位とかいふ割合で經濟上の補助をされたら、經營が幾分か樂になり、保母の待遇も少しはよく成り設備もどゞき市民である幼児一人くが幸福になれると思ふ、二、三年前に私立學校の敷地に對して國家が其地租を免除する事が法令となつたが私はそれに對して反對の意見を發表した、と云ふのはそれは土地所有者丈に對する免除であつて借地者には適應せられぬとあるからである。土地を私有し得る程度の者であれば經濟

上借地者より豊かであるのが一般であらふと思ふ。土地を私有して居る様なむしろ資産家側の地租を免除して却てより弱小な借地者の方には何等の免除も補助もあたへないといふのは救を求むる方を顧みないで比較的安定な位置の者を保護するといふのは矛盾も甚しいではないかと思ふ。高い借地代に現在苦しむ者の方を助けるのが公平な社會政策ではあるまいか。然も此の法律に小學校は入れてあつたが幼稚園は加へられてなかつた。幼稚園も同じ教育事業である以上は他の教育機關に免除するものは幼稚園にも免除するのが當然ではあるまいか。保母を小學校教員と同じ待遇にしなかつたと同様にどこまでも同じ教育者を幼稚園教育者だからと云て差別する事は廢して他の一般教育者と同一の恩典を與ふる様に考へたらよからふと思ふ。

今一つには保育料の値上げ問題である。これは官公立のそれに何等の懸念なしに私立幼稚園の經營者が協議協定してなるべく一定する様にしたらよからふと思ふ。保育料を月五圓とすれば三百圓の豫定収入がよほどうるほふ筈であるがしかし實際建築の修繕設備を充分に行き届かせようとするにはなほ足れ

りとは申されまいし、保育料のみを多く徴收して不行届であつてはならないから此處は一考を要する處である。米國あたりでは公立は無月謝でコロンビアとかハーバートなどの私立は年に保育料百ドルから二百ドル位徴收するのである。之を定むるには府縣知事の認下が必要であるからその手續をふまなければならぬ。がとにかく獨立自足の出来るような經濟状態に置くといふ事が幼稚園改善の第一根本問題であると思ふ。前に述べたように市、或は各區協定のの上に補助するか或は知事の認可を受けるかして毎月不足の心配が無いようにしたいと思ふ。先づ安定の基礎の上に立て後になすべき多くの事は残されてある。今日も新聞の土地家屋賣買欄に小石川目抜きの場合に三十年間して來た幼稚園を譲るといふのがあつたがそれは經營困難がさうした原因の一をなして居る事と思ふ。教育の機關である學校を賣買することは面白くない事と思ふがこれ亦幼稚園の經營困難を裏書きする事實に相違ないと思ふ。

此經營難に就いては經營者自身勿論考ふべきであるがそれと同時に一方當局を促して根本的解決をすべき第一の改善問題であると思ふ。(文責在記者)

三月さくらの春が来て  
さくら色したあの頬と、  
まともに、かやくあの瞳、  
こきざみに。踊つて歩く、あの足音、  
或時は、れづみの様に冷たかつた、小さい手。

三月さくらの春が来て  
大事な、私の？  
可愛い、姿が、見えなくなつた、  
だれがさらつた？つれてつた？  
恐い顔した時の爺様？それとも  
やさしい春のかみさま？  
空つぽのお室、聲もない、音もない。

三月さくらの春が来て  
さくら散るよに、  
いえ、もつと元氣に、行つちまつた  
私の仲よい、小さい、お友達、  
物忘れしたよな軽い膝と  
淋しい両手で、自分を抱けば  
冬より冷たいこのお室(ハ)

(保母)

## ヘスタロッチ先生の跡を訪ふ

岸 邊 福 雄

昨年一月十七日のことでありました。巴里から一夜かゝつてスウキスのゼチバに到着しました。それより前各國聯合勞働協會への公務で渡歐して居られた内務省事務官の川西實君が案内をしようとしてわざわざ打合せに來られて同行されました。氏は御影師範附屬小學校の出、當時同校で教導者の位置にあつた私は往年の幼兒——今は人の父であり社會の識者である處の氏——によつて導かれるのでありました。

扱ゼチバに到着したのは朝でしたが、と見れば車窓の外は一面美しい銀世界、しかも積雪一尺餘りといふ大雪でありました。ゼチバで下車すると其れからホテルまでは馬車があるのですが大雪の爲にかろうじて馬車が動き得るといふ有様でありました。ホテルは川西君の斡旋で世界の公園スウキスで聞えた、あのあざやかなコバルトの水の色を心行くほど眺められるようにと、ルソー島といふのをその群青

の水面にうつして居る、繪とも何ともたどへつくせぬ池に面したものでありました。私にとつてはそれ丈でも充分旅の話材となるのでした。このゼチバから二時間程汽車で行くとエベルトンといふ處があります、此處が彼のヘスタロッチ先生が學校を建て、廣く各國の學生を集めて教育をはじめられた處であります。碧瑠璃の水色、あかぬ眺に名残はつきぬものゝ豫定の行動に従て一憩の後目的地エベルトンに向ふべくステーション指して發足しました。すると時間まで僅かに十五分とのこと自動車もなし今來た馬車は雪の爲に動かぬと云ふし、ただ一つの道、かけあしならば間に合はふといふ事になりました。丁度私は其時少し流感の氣味であつたので總革の重い外套を着用して居りました。降りしきる雪の中をこの出で立ちでいざ、かけあしといふ事になりました。

御影師範の外周九丁、それを四回廻れば三十六丁

即ち一里を三十六分間にかけあしをさせた私はいつも先頭に立て幼き人の疲勞を氣遣ひながらかけ聲をかけたものでありました其の時の教師は今世界のノウキス、ゼチバの雪中に往年の幼な子今は血氣壯年の川西君の導きとはげましに汗びしよねれになつてかけあしするのでありました。やうやく間に合て汽車に乗りましたが車中の物語りの中にも最も面白かつた事は彼の御影の六甲おろしに凍れる雪の中をかけた昔の教師と生徒が今また異國に雪を蹴てかけた愉快さでありました。

扱エベルトンに着くと雪は二尺に積てゐてなほ降りしきる雪は大きなぼたんゆきで、支へる傘が重い程でありましたがやがてペスタロッツ先生の銅像の前に立ちました。少年と少女とを左右に如何にもゆたかな態度で椅子にかけられた先生、さながら「燕居たり申如たり」と云た様な温情にみち／＼た様子で本をあげて講義して居られる姿。背後の深い雪が一段と壯嚴な感じを添へて居りました。像の下には「人の爲にすべてを、我が爲に何物をも持たず」と記されてありました。これは銅像を建てた人達が先生を頌徳した句であります。高さは一丈餘、像は等身よ

りも大きい様に見えました。かくて東洋の幼稚園教育者はかつて教へた人に導かれて絶え間なく降る雪中に偉大なる先生の像の前に立ちました。そして外套をぬぎ帽子を取て、先生の高徳を慕てはる／＼此處を訪れた事を申しながら眞紅と純白のチューリップの花一束を恭しく捧げました。傍の深い雪道を通りつゝあつた町の人は此の奇異な光景をあやしみつゝ注目しそしていづれも何事かを話しつゝ去りました。私は先生の夫人のお墓が其の町のいづれかにあるといふ事を聞いて町の人に道ををそはりつゝ墓參しました、それは先生の銅像よりも數町はなれてゐる共同墓地の門をは入るとちぎ左の、石塀にはりつけられてあると思ふ様な二尺四角位な碑文がある、それがペスタロッツ先生をあの大教育者として成功せしめられた非常なる賢夫人の墓碑でありました。その碑文の大意は

「篤き信仰のある人であつた。そして非常に慈悲の心を持って先生の教育の事業を晝夜努力して助けられたのであつた。此處にこの高き節操の夫人に敬意を捧げる」といふ様な事でありました。處がはじめは形が大きいか背が高いかであらうと思つてそんなの

を注意してはペスタロッチと云ふ字を讀み歩きま  
したがなかく見あたらなかつたのです。雪はます  
ます深くなる、寒さは寒し途方にくれた時雪をかい  
てゐる除雪夫といふ様な人に出逢たので理を話す  
とその人夫はわざわざ雪道の中を遠まわりして夫人  
のお墓へ案内してくれました。そこで私共東洋人二  
人が墓前に恭しく敬禮をするとかの人夫は「あなた  
方は如何なる人か」と問ひましたから私共は東洋の  
教育者で、ペスタロッチ先生の徳を慕てお参りに來  
ましたと答へると人夫は帽子をとつて私達に丁寧  
に敬禮して去りました、私共は其の質朴さと、今日  
の参詣の意味を聞いて敬意を拂て行たその飾りなき  
眞純さをまことに嬉しく感じたのであります。

私の歐米旅行中ある友人は手紙をよせて「お寺参  
りはあまりするなよ」と云ふてくれましたが、事實  
歐洲へ行くとお寺参りをせねば見物する處がないと  
いふ位であります但其多くは文學藝術に關して新知  
識を與へられるのであつて、あまりに高崇な念どか  
確き信仰とかいふ觀念にはふれがたいおそれのある  
にもかゝらはらず此の雪降りしきるエベルトンに大教  
育者の跡を訪ひ温情あふるばかりの記念像に對し

「人の爲にすべてを、我が爲に何物をも持たず」と云  
ふ句を讀んだ時は實に無量の嬉しさと恐ろしさの感  
じを抱いたのであります。(文責記者)

ぶらんこ

ぶらんこほしい

春の森

ぶらんこ吊つては

ならぬ森

ぶらんこ揺れば

鳥が飛ぶ

ぶらんことまれば

花が散る

ぶらんこほしい

春の森

ぶらんこ揺れば

春がゆく。

(「れむの搖籃」より)

# 幼稚園改善の急務

(御回答順)

——我國幼稚園の發達改善のために何を最急務とすべきか——

我國幼稚園がその歴史の古いにかゝはらず甚だものたりない處の多いのは萬人の感ずる處である。その社會的の認められ方も低いし、教育界そのものに於ける位置さへも甚だ徹底してゐない處がある又其内部實質について願れば未だ頗る充實しないものがある。一人くとして極めて熱心なる人の多くを數へる事が出来るが全體としては吾人の理想に遠きこと甚だしい。これらの幼稚園教育不振の原因と理由は果して如何なる點にあるのであらふか。此の問題について諸名家の御意見をお尋ねして得た回答がこれである。往復はがきを以ておたづねをした様な略儀な事をした爲に紙幅の關係上諸家に於て其御意見を充分にお盡し願ひ得なかつた事が多いと思ふがこれ丈の御回答を拜見して考へさせられる處、教へられる處きはめて多いのである。考へさせられをしへられた丈ですむものでない事は云ふまでもない、吾人は更に諸方面の御協力と御援助に依て益々幼稚園改善の實現につとめなければならぬ。終りに臨んで諸名家が御多忙の處を本紙の爲に多數の御回答をよせられた事を深く感謝する。

高島平三郎

保母の待遇を善くして、人格學識ともに優良の人を吸引し、もつと立派な教育を施すことが一番急務と思ひます。保母が哲學を知らなければ幼稚園の原理は分らぬ筈です。

大阪府鳩集園 佐藤満壽子

一、家庭的氣分を味はせる爲め園舎の建設を増加し

一園の收容兒を少なくする事。

保母達が充分に子供心を理解し親しみをつくる爲である。

二、すべての指導を教へるでなく興味本位とする事  
教へる指導であれば自然子供はそこに窮屈さを感じ自ら深く味ふこと出來ず從て自ら進歩すること不可能である、興味を興ふれば自然子供は面白味を持ち從て注意しつゝ事に接する様になる。

三、幼いながらにして抱いてゐる尊い清い純な卒直的感情を認め且つ生かして少しでも藝術的世界に

導くこと。

すべての物に對し觀察が鋭くなり自己の存在が明白になり進んで自己表現が確實になる。

東洋幼稚園長 岸邊福雄

保母の待遇を低くてもよいと定めてあるからどんな人でも女子でさへあれば保母に適すると云ふ事になつたのが、今日の幼児教育の進歩しない所以であります。

保母の待遇を高くしなければならぬとすれば、或は幼稚園の數の發達は妨げるかも知れませんが、量は減じて質が好くなりませう、そして完全なる進歩發達を計り得ると信じて居ります。

神戸頌榮幼稚園 エ、エル、ハウ

お問合せに對してのお答は只今忙しくて申上かれますが、幼稚園兒の爲めに御注意願ひ度ひ事は、唱歌に就いて。——唱歌は其の子供の感情を最も優美に養ふ爲に用ゆるものであります故成るだけ、



清く美しき静かなる處にて歌はせる事が大切と存じます、唱歌を聞いて人の心が爽快に感ずる様になれば最も結構の事と存じます、あながち大聲をあげて歌ふのが唱歌の美點ではないと存じます。

神戸市保育會長 小磯吉人

我國幼稚園の改善發達に最大急務なるは保母の素質學業の向上發展を急務中の急務なりと信じます。それには全國大都市に完全なる保母養成機關を設置して自家の責任を理解し保育の業に盡瘁する者を得るに非ざれば現在に於ける發達の程度を高める事は困難であると思ひます。

神戸幼稚園長 望月クニ

お尋ねに對し極めて簡明に要點のみ申し上げます。

一、法令の改正。

法令を改正して學校の系統に入れること。

保母の資格待遇を向上すること。

二、幼児教育の大切なる事を國民が自覺すること。

之に對しては現在に於ては幼児教育の宣傳を充分にして一般國民に必要を知らしめ且又自覺せしむること。

三、保母の養成。

保母は保育事業に對し精神的であるべき様、職業的ならざること。

保母は教養並びに其素養の充分なるべきこと。

帝國幼稚園長 西山哲治

經濟狀態をよくし、保母を優待し、よき保母を得ることが第一と存じます。

次には設備をよくすること。其の内でも成るべく遊園を廣くするやうにしたいと思ひます。

文學博士 谷本富

御問合せの幼稚園改善の件、細かい事は實際家の御工夫に御一任申す外ないが自分が一教育學者としての立場からの看方は、本年二月既刊の雑誌「教育學術界」に掲げたる拙稿「教育學風の變動と幼稚園へ

の影響」竝に今度同文館より新刊の拙著「教育學大全」第三篇第四篇を御覽下さりませ。

大阪市教育部長 福士末之助

○ 幼児の時より共同生存上必要な人格の萌芽を培養する爲に保育の實質を改善することが最急務と存じます。

○ 東京女高師教授 下田次郎

- 一、幼稚園を成るべく家庭的にすること。
- 二、幼稚園に費用が少くて行けるやうにすること。
- 三、保姆の待遇を良くし、人材を招くこと。
- 四、母親を始め世間が一層幼児教育に重きをおくやうにすること。

東京府女子師範學校教頭 平田華藏

- 一、速かに幼児教育に關する完全なる法令が發布されること。

二、保姆の待遇を高めること。

三、幼児教育に關する中央研究機關を設立すること。

四、保姆養成機關の増加充實を計ること。

○ 奈良女高師校長 槇山榮次

保姆養成の途を開くことが最急務であると思ひます小生の考では各府縣師範學校に保姆養成科を設け又兩女子高等師範學校に其養成科教師と成るべき者を養成する學科を設くるが宜いと思ひます。

○ 東京市 開發幼稚園

- 一、保姆の資格待遇を高むること。
- 二、保姆養成機關を設置すること。
- 三、現在保姆の爲めに連續的講習會を開設すること。
- 四、幼児の服裝を制定すること。
- 五、園舎園庭の設備に大に改善を施すこと。

京都豐岡幼稚園 姫宮梅乃

- 一、制度の改革(良き保母を得ん爲に)
- 二、現在より多く大自然に接觸せしめること。  
宗教心の萌芽を培ひ、研究心を一層満足せしめる爲め。

三、身體的發育に一層留意する事。

是幼兒保育の眼目なるが故に。

○

大阪江戸堀幼稚園 膳 まき子

- 一、幼稚園の改正を一日も早く願ひたし。
- 二、幼稚園の増設を願ひたし。
- 三、幼兒の受持數を可成小數に致したし。
- 四、幼兒に適當せる庭園遊び小公園の設定を願ひたし。
- 五、交通機關の乗車の特點を得て時々郊外に幼兒を引率し自然界に接觸せしむる機會を與へたし。

○

岡山市旭東幼稚園長 折井彌留枝

一、法令の改正。

幼稚園教育令及其施行規則を小學校の系統中に加へ資格待遇を小學校と同等にはかる事。

二、保母養成機關の完成を期する事。

時代の趨勢に伴ひ主として其人格を作り殊に年限を延長し程度も一層高くし小學校本科正教員と同等程度の機關を設置する事。

三、社會に廣く幼稚園保育の普及徹底を期する事。

現今の如き中流以上の幼兒保育に止まらず進みて一般向きの公私立幼稚園を設置して一層幼兒保育の普及を斗り尙一方托兒の便宜を加味すること。

○

帝國教育會長 澤柳政太郎

- 一、兒童の自由活動を基調として保育すること。
- 二、觀察科又はテーチャア、スタディーを仕事の一とすること。
- 三、別段の爲めには保母の實力ある者を要す。

○

東京市學務課長 佐々木 吉三郎

一、幼稚園舎又は幼稚小屋でなく、幼稚園である様

にしたいたいものであります。

二、貧民の爲めの幼稚園を數多く作り牛乳とパン位のおやつでも與へ安樂椅子風のもので晝寝の裝置などもしてやりたいと思ひます。

京城庚子記念幼稚園

大和田 りよう

御回答と申す程の案もありませんが「幼児教育」第二十三卷第二號幼稚園當來の問題の中倉橋先生の御意見に賛同致者です。なほ保母養成機關は當地に於ては殊に至急必要でござります。其他

一、幼稚園は如何なる仕事をなし居るやを一般家庭に了解を得ること。

二、其土地に適應した設備を整へること（建築、暖房）

右はせまき周圍より割出したもの故そのおつもりに願ひ度うござります。

名古屋第一幼稚園

坪内 キク

幼稚園の改善發達のためには、教育系統に入れる

を要す若し然らざるも普遍的ならざるべからず。といふ立場より。

一、幼稚園の數を多く設立すること。

二、各小學校に一組以上の幼稚部を必ず附設すること。

三、現在の師範學校に幼稚園科を設け研究せしむること。

四、保母の資格待遇を向上すること。

五、保母養成所を多く設け保母の素質を改善すること。

東京 ソファア、アラベラ、アルウキン

一、保母の修養及態度について。

1、常に自己を反省し精神修養に努め自己を教育すること。

2、幼児の精神を認め彼等の眞の要求を理解することによつて満足と與へること。

二、保育上について。

1 幼児に眞の自由（放任でない）を與へること。

2、入園前に於ける幼児の家庭狀況を知ること。

3、現在の状態を知る爲に、日々の出来事を詳細に記載し、それによつて各種の方法を講ずること。

4、出来る事はすべて幼児にさせて、保母は最もよい子供とし、或時は友達となり、或時は指導者となり或時は相談相手になること。

5、保母と幼児とは共生すること。

○

福井市 尾上幼稚園

一、經濟的基礎。

二、實社會との交渉。

○

日本橋高等女學校長 田中敬一

一、一人の保母の受持つべき幼児の數を三十人以下に限ること。

二、保母の資格を少くとも小學校教員と同等にしその待遇を高めること。

○

青森女子師範 附屬幼稚園

一、幼稚園保育に對し標準となるべき要目を制定せらるゝことが急務と存せられます。

二、手技、唱歌、遊戲の適當な參考書を協會で御編纂になりますやうに御願致します。

○

醫學士 竹内薰兵

我國幼稚園の改善發達のためには善き保母の養成を最も急務と考へる。

○

香川縣 丸龜東幼稚園

觀音寺幼稚園

豐濱幼稚園

一、各町村に對し幼稚園設置の義務を負はしむる事。

二、少くとも縣に一ヶ所の保母養成機關を設け保母の實質向上を計る事。

三、保母の修養と覺醒に留意すべき事。

四、小學校の一二年の教育と幼稚園教育との間に今少しく連絡あらしむる事。

- 五、受持幼兒數を三十人以内に減少なす事。
- 六、設備を改善すべき事。
- 七、幼兒教育を社會生活に連絡あらしめる事。

静岡櫻花幼稚園

宇式 かん

我が國幼稚園の改善發達の爲急務とする事は數ありませうが最も急務と考へます事を左に申上ます。

一、其市町村より相當の補助を得て私立幼稚園を多くする事。

二、保姆の實力向上をはかり能率を高むる事。

文部省社會教育課長

乗杉嘉壽

幼稚園の改善發達を計る根本問題は、如何に幼稚園の組織や制度をば、現代の要求に副はしむべきかにある。即ち現在の幼稚園は、多くは中流以上の社會の專有物たるの觀があるが、これは宜しく托兒所式に改めて、幼稚園をば今少し中以下の階級の家庭にも解放する方がよいと思ふ。

日本橋城東幼稚園

山邊知之

幼稚園改善發達の爲めには

- 一、幼稚園保育に關係せらるゝものゝ資格の向上。
- 二、同上待遇方の改善。
- 三、園舎建設並に諸設備上の改良等。

右何れも最急務かと思ひます、併し以上の改善と  
か向上とかは多く法令制度の改正を待たねばなりません。從て實行の期は前途頗る遠遠と存じます故に私は單に保育者諸姉が幼稚園保育に對して今一層徹底的の保育を實行せられ度く望みます。私は保育上の主義なり、手段なりが時代に適不適など多く申しませんが、唯保育者自身が經驗なり研究なりで自得せられました自信ある事に依て熱心努力せられんことを望むのみであります。私が知る限りでは自信ある徹底的に而かも力ある保育を實行せられつゝある幼稚園の未だ我國に僅少である事を遺憾と思ひます。

以上は餘りに抽象的にてお問ひに對して果して正鵠を得て居るか否やは自ら疑て居りますが唯幼稚園改善發達の第一歩であつて且つ直に實行し得らるゝ急務ではなきかと婆心までに敢て一非禮の言を呈しまして其責を免れたく存じます。

# 幼稚園改善の急務を讀みて

倉 橋 惣 三

我が國幼稚園の發達改善の爲めに何を最も急務とすべきか。この問題に對する右の御回答を讀んで先

づ第一に誰も感ずる事は、我が國教育會に重きをなす方々が多數此の問題に就いて考へてゐて下さること云ふ事である、其の示さるゝ點は種々であるけれどもいづれも吾人の爲に強き暗示とならないものはない、この多くの御回答はごく大ざつばに分類して制度上の問題と保育内容上の問題と幼稚園教育者の實質に關する問題とに分ける事が出来る様である、勿論この三つは實際に於て個々別々の問題ではなく密に互に相連關するものである事は云ふまでもないが解決方法の着眼點として此の三つの方面があるかと考へられる。

第一の制度上の問題は更に大別して、教育系統上の問題と、法令による普及上の問題、内容の實際に關する示導監視の問題と及び保母待遇上の問題とを以て主なるものとする、而して此の中最も多く考へ

られて居るものは保母待遇上の法令的改正であるとみらるゝ。

第二の保育實際上の問題は、その問題の性質上極めて多岐であつてこれを概括的に云ふ事が困難であるが、その主なるものを擧ぐれば、幼稚園編制に關する問題と保育要目に關する方面の問題とがある。例へば一人の保母が受持つべき幼兒數の減少の如きは(少くも二十人以下とするの說)前者に屬し、澤柳博士の觀察科を加ふべしとのお説の如きは後者に屬する主なるものである。其の他此點に關する諸の説いづれも有益ならざるはない。

第三の幼稚園教育者の本質の問題は保母の修養及び素養を高むべしと云ふ一般的の注意と保母養成機關を多く設くべしとの具體的主張との二つに分れる、前者については特に之を明示せらるゝと否とに係らず殆どすべての御回答に讀み得る處のものであり、後者としては横山氏の最も明確なる御意見をはじめ

とし之亦多數の方の主張されて居る處である。

此の問題に關する吾人等の常の考は委く右の御回答の中に含まれてゐないものはないのであつて此の際更めて之を述ぶるの必要を見ない、ただ今更の如く問題頗る多端百憂一時に存する如き感をして其のいづれを先きにするべきやに茫然自失するが如き思ひがするのである、これを露骨な言ひ方を以てすればよくも、かく何もかも捨てられて居たものだと云ふ思ひがあるのである。しかもこれを他の方面から云へば、今日は此處に諸家が示さるゝが如き多くの急務に對して其のいづれからでも解決の一步に進まることを待つ他のないといふ事になる。更に言ひ換へれば初めにあげたる第一の三分類の中いづれを先き、いづれを後とする事必ずしも容易でないのであつて、機會ある如にそのどの點からでも解決と充實を試みなければならぬ。而して之やがて他の點を解決するの實質的歩みよりとなるのである。そのどれかが解決せられぬが故に他は到底如何ともする事が出来ぬといふが如き事はない。

然し吾人一個の考へとしてごく簡單なる或る言ひ方を許さるゝならば、今日我が國幼稚園改善の第一

の急務は、内容的には保姆の實力の改善であり形式的には保姆の待遇に關する法令上の改善である。この内容所謂内容方面と形式方面とは事實に於ては、どこまでも相互的條件として相關連するものであつて、その一つを切りはなして要求すると言ふことはむづかしい事ではある。教育者の教育精神といふことから言ふならば待遇の問題を離れて自己實質の改善充實といふ處にどこまでも意を用ひなければならぬ。若し待遇が改まるまでは實質なき保姆に大切なる人の子を托すも又やみがたしといふ如き心持ちあらば吾にも人にも決して許す事の出来ないものである。而しこれは云はゞ純理に屬する考へ方であつて、幼稚園も亦社會的事實であり保姆の職も亦職業的事實であるといふ正當にして當然なる立場から見らば、待遇問題は、保姆をして良からしむる道である、と云ひ得ないとするも良き保姆を得るの道であるといふ事は否定出来ないのである、即ち現に幼稚園の教育に自己の教育精神に基いて従事する處の者は一心不亂に自己の實質的改善に努力すべきである。これ吾につとむる第一解決である、然し社會事實としての幼稚園問題改善の爲めには待遇上の改



善について大につとめなければならぬ、これ社會の爲めに盡す所以であり又我が職業の爲につくす眞劍にして高貴なる努力である。更にもう一步吾人の今日思ふ處を云はしむるならば、今日の我が國の幼稚園保姆が吾人の理想とする處に遠い事は遺憾ながら否定出来ない。然しながらこれは云はゞ程度の問題であり又云はゞ漠然たるものでもある。しかるに保姆の待遇上の問題に於ては一方に小學校教員を遇するの方令を竝べ見てその不合理なる事が目のあたりあからさまなるものである。漠然たる缺點に對してはその改善も亦漠然たるを免れない、しかもあからさまなる缺點に對しては、あからさまなる改善を要求する事が出来る。この點よりして我國幼稚園改善の爲めにする最もあからさまなる第一標的は、保姆待遇に對する現行法政にあるといふ事を云ひ度いのである、前にも述べたる如く我國幼稚園の改善急務其各方面に於て必ずしも輕重をつけ難い。しかし上來述べたるが如き意味に於て保姆待遇に對する法令上の改正を現下の第一急務とすることに於ては諸家も又諒さるゝ處があらふと思ふ。諸家の御回答を讀み得た機會に於て一言その終りに添へる。

外國雜誌より

○ 手軽な畫本作り方

じやがいもをまるごと、皮をむかずによくうでます。そして冷たくさましてから其の一端を切ります、それで貼らうとする紙なり繪なりの裏から平らにこすります、そして手早くその紙を貼る位置へ持て行つてはりつけ澱粉を拭ふ爲に軟かい布で表面を拭ひます。

おいもが乾らびましたら、も一片薄く切り落とすと、この簡単な、糊塗はまた、いつばいになります。

此のようにして雜誌や見本の古いのをがし、子供達の紙製作に使ひます。

○ 郵便ゲーム

幼學年に文字の訓練を助ける郵便ゲームを子供達は大層よろこびます。椅子とテーブルを郵便局の代りにします。郵便局長(或時は先生、多くは兒童)は郵便局の窓(假想のもの)の後に立つて居ます。

一度に一人の兒童が郵便を尋ねに行きます。局長は一枚のカードを見せます。もしその字が理解れば自分の手紙としてこの遊びの終るまで自分のものになります。この遊びは文章をあつめる事と禮儀とを要し言語やお互の管理に經驗をあたへます。

# 「幼稚園の理論と實際」より

馬場 定 一(譯)

## 幼兒の取扱と躰

子供を公平に取扱はねばならぬ事は、幼稚園管理の要素として重要な事ではあるが、尙ほ不知不識の間に偏愛の弊に陥る若き保母達のある事は事實である。太郎は先生の命令に賢く敏捷に應ずるので朝の會集や、ゲームの色々の世話から、保母は、外の子供が太郎の獨占して居る仕事を自分もさせて貰ひ度いと望んで居ることを忘れて居たのである。成程他の子供等は氣が利かぬだらう、併し、氣が利かぬ故に特に呼出されて利用せられねばならぬ幼稚園の子供には、どの子にでも、園の用事や日課の世話をさせる機會を與へてやらねばならぬ。幼稚園は決して太郎や、花子の早熟を見せびらかす場所ではない、グズ／＼した子供、オズ／＼した子供なほ何れも皆一樣に、活動や仕事をする機會を持たして貰はれる筈である。即ち幼稚園は子供の——總ての子供の

——發達のための制度である事を忘れてはならぬ。

子供の取扱を公平にするといふ事から延いては幼稚園に於ける躰の問題に逢著するわけであるが、心理學者は「幼稚園には躰なし」と云つた様に記憶して居るが、若し幼稚園の躰が巧妙なる一つの過程であつて、全體としての保育法の中に含まれた一部であるから、特に一要目として、判然と取あぐべき性質のものではない、と云ふたのであつたら、もつと正確の云ひ方であつたらふと思ふ。

マリヤ、モンテッソリー女史が「躰は自由を貫して行はれなければならぬ」と云はれた事は、「兒童の家」(The Italian houses of child hood)に於けると同様、一般幼稚園に於ても亦眞理である。自由の空氣は自學、自制、自信を得べき機會を與ふるものであつて、是等は、いつかは當然實るべき果實である。

併し乍ら若い保母達には學年の始めに當つて、初めて幼稚園の一般管理に携はる時には、躰は稍嚴肅な

題目として現はれる事と思ふ。自分の預つた三十人乃至四十五人の子供等を見ると其中には有ゆる型、有ゆる國民性を持つて居るものが居る。家庭の躰にしても或るものは善く、或るものは悪く乃至は又善くも悪くもなく、中には又全然躰などを受けてゐないものも居るのであらう。又中には非常に頑固な子供も居て、保母の有ゆる方法手段もつき、唱歌を歌はせやうとするといつでも訖度「高等學校に入つてから歌ひます」といふのである。或はオヅ／＼した子が居て、自分の當惑を隠す爲に空威張の態度をとつて、いつも皆に嫌はれるものもある、又如何かすると床の上に倒れて烈しく足を蹴つて兩親や先生を降參させる、非常に甘やかされた子供も居る。又五歳の時から近所の墓場で露營する様な冒險的な子供も居り、所有の觀念が缺けて居て自分の物でない物を持つて行くやうな子供、虚言をつきたがる子供、誇大妄想の子供、想像觀念の缺けて居る子供等種々雑多な子供が居る。勿論中には幸福な氣の利いた正常な子供も居るのであるが、扱是等の様々なる變た分子を調和した一團となす事は決して小さな問題ではない。此場合當然保母の持つて居る心理學や教育

學の知識が役に立たねばならぬし又、個性の變化を翻譯すべき基礎として保母は、子供の一般の傾向並に其の意味を知る事が必要である、即ち子供の行爲を顧みて其を起した動機を考へなければならぬのである。

或る若い保母が、子供に擬戰遊戲をさせて居た。一列に立つて居た子供等は擬馬に乗つて、代る／＼木劍を掲げて、先生の高く掲げて居る二つの輪をやらんとして室の中を駆け廻つて居たのであつた。列の一番終りに立つて居た子供は、早く自分の順番が來ればいゝと非常に待遠しく思つて居るやうであつたが、終から三番目の子供の順番が來て出て行つた時、もうたまりかねて、立派な擬馬の眞似のつもりで頭を前に投げ出して、馬の様に跳び始めた。參觀者の見た處ではこの子供は其表情から見ると、取りわけ其のゲームに吸収せられて居る様に喜ばしげに見えたのであつた。所からこの若き保母の目には、不規律な子供と見えたのであらう、この任意活動の表現は禁止され而してその子供は罪の宣告を受けたのであつた。我儘なる腕白と、任意活動即ち止みかたき活動とを區別し得る事は、小さい子供を取扱ふ

上について最も大切な事である。故に保母は、子供の行爲が何を意味して居るかを發見する習慣を養ひ、其の本質的であるか非本質的であるかを見分け得べき識別力を養はなければならぬ。併し澤山な子供の事であるから中には看過せられ無頓著に見遁さるゝ行爲が少くない事と思ふ。尙又保母は子供の行爲は最後のものではなくして變化して行くべきものであるといふ事を悟らなければならぬ、この事に就いてデューウィー博士は次の如く云つて居る「子供が現在經驗して居る事は決して自己説明にはならぬ。其の行爲は最後のものではなくして變化すべき性質のものである。其れは決して其れ自身で完成したものに非ずして、或るものに生長すべき傾向の象徴若しくは索引の如きものである。吾々は子供の或る瞬間の行爲を凝視する事を怠る時は常に惑はされて遂に其の行爲の意味を諒解する事が出来ないものである。子供を道徳的に又は智的に其の相當價值以下に見過ぎる事も、乃至は又感情的に之を理想化する事も共に根本に於て共通の誤謬を持つて居る。即ち何れも、生長又は動作の一過程に過ぎないものを、切り離された、固定的のものとして見る事から起つ

て居るのである。第一の場合は、其れ丈取り離して見る時は、少しも善くなる様な見込がないのみならず、却て悪くなる様に見えるが、實は、其の感情や行爲の中には美しき方向に發達すべき萌芽が含まれて居るものである事を知らなかつたのであつて、又第二の場合は、如何にも立派な美しい表現の様に見えるものでも其れは唯單に象徴に過ぎないのであつて、而も其の美しいと見えた瞬間から既に悪い方に傾きつゝあるものなる事を見遁して居たのである」。既に述べた通り、保母の目標は保母と園兒との間の信賴の關係を發達せしむる事及び園兒に對する保母の取扱には公平なる對度を保持する事でなければならぬが、之に加ふるに更に嫉に變化なき事を以てしなければならぬ。家庭に於て子供を取扱ふ如くに、普通の母の定見なき躰程子供に不幸を與へる事はあるまい。この事は家庭では多少恕すべき點があるけれども、幼稚園に於ては毫も恕すべきものではない。保育は保母の最上の仕事であつて、細微の點に互つて其の全力を獻げる事は保母の義務であるからである。保母は園兒の特異性に激してはいけない。或は又幼稚園の管理をなすに方つて自分の氣分や感

情に支配せられてはならぬ。保母は常にフレーベルの所謂正義又は最善、the abstract Right, the ideal Best に導かれなければならぬ。之に反する行爲は必ず失敗を意味するものである。

或人は、子供の各過失は道德上の缺陷と観ねばならぬ、そして其儘過失に生活せしめるよりも寧ろ其缺陷たる道目を子供に浸み込ませるがよい、と云つて居る。これは善良なる教育的手段に根柢をもてる、安全なる法則である。そして其使用は大抵の場合有利である。故に例へば、ビク／＼した子供には自信と勇氣とを與へ、盜癖のある子供には所有權の念を與へ妄想的の子供には事實の真相を見せ、又想像力の少い子供にはお伽噺や想像遊戲の滋養を與へる事が必要である。

「禁ずる事は唯却て子供を引きつけるものである。善とは何であるかを子供に示す爲に却つて悪くなるやうに子供に教へるな」とは有名な格言である、故に誰にでも随分能く使はれて居る「してはならぬ」の代りに、積極的な「せよ」を代用する事は最も幸福な結果を來すものである。積極手段は子供の注意を新しくより良き形の活動に轉ずるものであつて、其活動

は何時か子供の習慣性となるべきものである。消極手段の必要を需むる場合も無いではないが、それは普通の場合ではない様な事柄に一層有效である。

禮義に關する子供の表現や行爲上の習慣は躰に於て最も重要な位置を占めて居るものであつて、お行儀は決して看過せらるべきものではない。幼稚園の團體生活は此の躰に役立つものであるから、忠實なる保母は必ず之を看過してはならぬ。保母はお行儀の本質を其の日々の行爲に體現しなければならぬ。子供等が、その柔かい心に判然と映つて來る保母の性質を自分自身の小さい生命に再現しやうとする可愛らしき企ては、實に興味ある事であると同時に誠に可憐なものである。

幼稚園での懲罰の仕事は救濟的で、出來るならば何時でも應報的な方法でなければならぬ。即ち懲罰せらるゝ方法は過失の自然の結果でなければならぬ。何となれば、懲罰の眞の作用は子供が過失の性質を發見して再び夫れを繰返さない方法を指摘する様各個人を助くる事にあるからである。

幼稚園に遣入る時に、靴について居る泥を落すための靴拭を、不注意の爲めに、使用する事を忘れる子供があつたので、塵取と

ブラッシンとを捨てて室の中に落した泥を掃かせた處が、二三同用の後其習慣を癒す事が出来た。又或る子供は床に唾を吐く穢い習慣に耽るので可成澤山な、石鹼と水とで床を掃除させる事にして少し長く、そして少し骨の折れるやうにさせた所が、再び其罪を重ねない様になつた。又或る子供は、友達を撲つ癖があつて、それが中々しつこいので、色々の手段で隔離して見たけれども少しも其效がなかつた。或る朝、目立つた罪を犯したので。保母は思切つた處置を執るべき時が来たと思つて、其子供を室から連れて来て、「汝は自分の手の信賴すべき監督者でないから、この手を自由にして置くことは最早安心出来ない」と云ふ意味の事を簡単に話して、幅の廣い木綿の紐で兩手を一緒に括つて、室に連れて歸り、いつもの席に坐らせた。朝食の間何故自分の手が自由にされないのかの意味を考へさせられた。保母や子供等は其子の椅子を動かしたりなどして待つて居た。保母は其結果が如何であるか、辛棒しきれないで困るがと、熱心に注意して見て居た所がその子は其の罰を眞面目に受けて、唱歌でも遊戯でも出来る限りは皆に加はる事が出来たのであつた。その子供は其事を明かに正當の事と認める事が出来たから少しも恨の状を現さなかつた。これは完全に癒らなかつたにしても確かに永い間爲めになつた事と思ふ。

「行爲は言葉よりも聲高く話す」の言は幼稚園の躰に於て最も適切に採用せられ得るものである。或る過を犯した園児に對して保母は稍冗長なるお談議に陥り易いもので最近一幼稚園で目撃した處に由つて見るも、かゝる方法は常に話が其子供に徹底しないのみならず、組全體を非常に騒がしくするものであ

る。或ゲームの時間であつたが、一人の子供が綱を引張たり投げたりして、不規律に騒いでいくら保母が之を制しても毫も聞かなかつたので、遂にゲームを中止して、皆の前でその子にお談議を始め、皆が不規律に騒がしくなる迄續けたが終に其の子供は改めなかつた。このお談議は子供等にとつては明かに無意味であつたが、若し再び其過を繰返した時、直ちに其子を列から引き出したならば其事は過ちをした子供のみならず他の子供全體に意味をなした筈である。保母としての一つの積極行動は、一場のお談議よりも遙かにためになるものである。此事の眞理なる事は幼稚園の實際に於て度々經驗し得る事である。子供等は保母の優しみを輕快さとの背後には硬き道德的脊骨のある事を知つて爲めに保母に對する尊敬の念は高くなるに至ることである。

デントン、スナイデル氏 Denton Snider の母の遊嬉 "The Mother play" の註釋の一節は、父が其品性の中に正義の本質を多量に體現して居るのに對して母の方には愛の要素が勝つて居ることに注意を惹くものである。若し保母が子供等の立派な守護者であるものならば、愛と正義との兩性格を何れ勝り劣りなく兼ね備へねばならぬわけである。然りとせば保母は、子供を保育するに當つては、子供の爲善なりと思ふ事であれば、其の心絲を引く如き辛き事をも敢てせねばならぬ事である。

# 兒童就學に對する母親の注意

ランパス女學院附屬幼稚園園醫

竹村

一

初めて學校に行くといふ事は子どもとしても親としても眞實悦ばしい心持のするものである。

社會的生活が幼稚園時代よりもよく廣くなり情意の教育から理知の教育に遊戯の時代より直觀の時代にと移つてゆく人生に於ける新しい記念にである。

◎一般發達 幼稚園生活の終る頃は身長が目立つてずん／＼伸んでゐたものが今度は體重が増して大變丈夫な體格になるその時に學校生活が初まる乳齒が永久齒に變るのも此學校生活の前期である、頭蓋の發達も著しいし筋肉骨骼も兒童としての完成に移る時である。

◎死亡率と罹病率 元來人間の死亡率は乳兒の時が最多いそして最少ないのは小學校時代の後半期である就學始期はまだそんなに少ないといふ事は出來ない(五歳・十歳人口千に對する死亡率は五・六強然し死亡といふ事よりも學校生活の兒童に對する罹病率といふ事が一層注意を要する事である、家庭生活

又は少人數の幼稚園生活から何百何千といふ群集生活に移る爲に自然に種々な傳染病にかゝる機會が多い就中猩紅熱、百日咳、麻疹、實扶埵里等の様なものである。

其他學校病と云はるゝ脊柱彎曲、近視眼、耳鼻咽喉の疾患にかゝる時期である。

殊に注意を要する事は結核病である、肺結核、結核性腦膜炎其他の結核病で死ぬる兒童は可成多いが夫よりも尙大切な事は兒童期の進むにつれて潜伏結核が多く證明せられて來るといふ事である。

◎課業に對する疲勞 群集生活授業本位の生活(幼稚園の様な遊戯本位でなく)に加ふるに文字であるとか數であるとかいふ様な恐ろしい程兒童には苦痛である新らしい課業につかねばならない従つて當然の結果としてそこに疲勞といふ事が起つて來る、私の調査からみましても就學始期には身體發育が前の時期からつゞいて佳良であるべき筈なのに身長體重

の増加は止り或は甚しい児童になると體重の減少さへ來す者が可成多數にある。

之は勿論其児童の遺傳素質にも因りますが然し一面に於て授業といふ事は児童の健康に對して重大な影響のあるといふ事が判ります。

そこで親として児童を入學せしむるについて種々考へねばならぬ事があると思ひます。

(一)、児童體重の動搖を注意する事 體重器を用ふる事が出來れば此上もない事ですが無いとしても次第に瘦せて來るか如何かを充分に氣をつけねばなりません。

(二)、貧血が起りはせぬか 學校に行きかけて次第に顔色がわるくなつて來はしなかつたか何事もぐずぐずする様に力ない勢のない態度になりはせなかつたか更に頭痛頭重を訴へはせぬか。

鼻血を出したりせぬか。  
夜中に驚て飛び起きて泣いたりせぬか。  
夜はよく睡眠をするか。

此様な事は生活の變化による疲勞の結果である。

児童就學の始期はつごめて急激な生活の變化を家庭に於て緩和してやる様にする事は第一に考へてお

く事である。

勿論此疲勞に對しては適當な運動、充分なる睡眠(九時間乃至十時間)を取らしめ更に食物の調理に意を用ゐる事が大切である。

體重の減少や貧血の防止さては疲勞の恢復等に關しては食物は重大な意義のものである。

其外新鮮な空氣、溫暖い日光の必要な事は云ふまでもありません親によるとやれ復習やれ復習と學校から歸ると夕方まで机の前に坐らして子より親の方が一生懸命になる方があるが私は唯毎日學校から歸れば一度五六分間でも十分間でもよろしいから復習するといふ習慣をつけておきたいとのみ考へます。

殊に神經素質の児童は一層の注意を以て此疲勞の起らぬ様にせねば遂に再び歸らざるの悔を残す事が出來ます。

(三)、教育といふ事は教師のみの責務ではない 私は児童教育といふ事は親と教師と同等の責務があるに考へます、或親によると児童が學校に入學したらまあ半日は樂だなど話合つてゐる方が時々あります。私が私に變に考へます。

教育といふ車に乗つてゐた児童は師と親との兩輪



の調和した協力の回轉によつて伸展して行くものであると思ひます。

斯ふ云ふ點から私は學校參觀といふ事が殊に就學初期にはつとめて行ひたいものだと思ひます、勿論懇篤な温情に満ちた教師であるから充分の注意は下さいます然し大勢の兒童故時に氣のつかぬ處もありませうそれは決して教師の罪ではありません。

自分の子供の机腰掛の高低を一度見れば素人の親でもよく判りませうそこに注意すれば將來其兒童の脊柱彎曲といふ事は除かれませう。

一度教室を參觀すれば黑板と子供との距離日光の反射の具合なども充分に會得できませう、そこで教師と御談合の上で其兒童の目に適當な適當の座席を定めて戴けばそこに近視眼といふ恐ろしい不具から逃れる事が出來ませう。

(四)、最後に就學猶豫について申上ります どうしても私達は兒童そのものになるといふ事換言すれば充分に自分の子供の心や身體になつて考へて見ねばなりません事が澤山あります、就中多少身體の弱い者精神發達のおくれてゐる者に對しては猶更の事でありませう、近隣の他の兒童同様に無理に就學せしめる

といふ事は實に可愛い我子供を死地に陥れる様な者であります。

兒童の幸福は半年や一年の就學猶豫によつて更によりよく得らるゝ者ならばいと容易な事でありませう。

始終かゝりつけてゐる醫師、通園してゐた幼稚園の受持保母或は兒童相談所母親相談所に行つて充分に心身發達の診査をしてもらひ且入學の適否を決定してもらへばよいと思ひます。

そして猶豫する方がよいと決定すれば更に幼稚園に半年とか一年とかを通園せしめるといふ事は實にその兒童の將來に取つて大切な事であります。(講演の概要)

## 幼稚園に我が子を送て感じた事

櫻田千恵子

幼稚園と申しましても種々なのがある様でございますので出さない方がよいといふ様なお話もうかひますが幸ひ宅の子供達はよい幼稚園にまゐられましたので其様な事は考へて居りません。それよりもこれまであまり側にばかり居りました爲か差して氣づかなかつた點を手離してはじめてはつきり知る事が出来たりまた思ひがけない發見をするといふ様な事がござりました。長男が幼稚園には入りまして初めてまゐります日に私がつれてまゐりました、すると平常家に居りましてはハキ／＼して居た筈の子が皆様と列に連なるのを好まないで活發に遊びませんでした又次男の時にははじめの體格検査の日に附き添てまゐりましたが家に居りましては内氣でおとなしい子で他人様の前にはじめて出てどんなかと氣づかひましたにもかゝらず先生が呼びになると元氣よく出てお聞きになればお答もするといふ様で、家に居りました間には可成かひかぶつて居た性

質も幼稚園に出してはじめて思ひの外であつた事がわかり又家ではそんなに認めてゐなかつた點を幼稚園に出してはじめて發見したり致しました。これは小學校へ入學して初めて知るのでは遅いと思ひます。またこんな事も思ひましたあまり多くの母達が幼稚園へ對して期待を大きくしすぎて居るといふ事とも一つには小學校と混同すると云ふ事でございませす。折り紙とか手工とか一日幼稚園に行けば何かを仕て來るものゝ様に多くの者が考へてまゐりましたが幼稚園は家庭の小兒室の離れの様なものである決して何かをさせる處でもなければ勿論をしへる處でもないといふお話を伺ひまして幼稚園はどういふものであるかといふ事を子供を入れます前には是非諒解する必要があると存じました。又今まで家にばかり居りましたのが多くのお友達の中には入りまして自分より強い者(友達で)に出合ひました時その爲丈で幼稚園全體を好まなくなり行くのをきらふ様な事も

ございましたけれどさういふ時は親が其の事に同意致しませんで子供の注意を他の方へむけそれでもお家がないお山があるでしよ、お砂場があるでしよと云ていやな事を忘れさせるように致しませば子供はまた興味をもち心持ちが變つてまゐるようになります。一寸のことでございますがさういふ時子供の云ふ事に同意してしまひますとなほなほ幼稚園に行くのをいやに思ふようになります。又幼稚園に出しましたからは先生を信用して其中の小さな出来事やすべては先生にお任せ申して母達があまり干渉しない方がよいと思ひます。けれども子供の心身の状態につきましては兎に角子供の生活の様式に變化を生じたのでござりますから母として充分に注意する事が必要だと存じます、多少の神経質の子は餘計に過敏になりましたり食事を減じたりする様な事もございませす。又昨年は毎月體格検査をなさつて夏休みになります時八月と九月は家でする様にこの御通知でございましてがあれは大層よい事と思ひまして幼稚園に参りませぬ姉や兄達の身長體重をも未だに毎月量て居ります殊に長男は日曜毎に(中學の入學準備で過度に頭を使ひますので)體重を量りまして睡眠

や食事に氣をつけて居ります。家にはかり居りました間は時間といふ事はさう規則正しくまゐらない事がございましたも幼稚園には入りましたのを機會として良い方へ習慣づける事が出来ませうしても十時間以上は睡眠をとらなければならぬあの時期に宵ばりの癪などがございましたら、あしたは早く起きてたのしみな幼稚園へ行きませうと云ふ事でそれをなほすといふ事はほんどうに逃してはならないよ機でございませす又泥いちりでもした時の外は手を洗はないといふ様なのも幼稚園から歸たらば必ず手足を洗ふ様な習慣や自分の手近い持ち物の始末を自分でするといふ習慣なども此の時を機會に致しませす無理をせず子供自身も興味を以てよろこんで良習慣には入れると存じます。又お辨當に就ては充分母が注意すべきだと存じます。嫌なお菜のは入てゐた爲にたのしいはづのお辨當の時間が不愉快にならないように、今日は何のおかづがは入てゐるかといふ事がたのしみである様に、幼稚園での子供のたのしみな事の大きい一つとしてお辨當の時間がどんなに子供に期待されてゐるかをして又其の時間の心持ちよく愉快である事がどんなに大切な事であるかとい

ふ事をよく考へねばならぬと存じます。

著物につきましては汚しても吐られず軽く運動し易く洗濯のきくものまゝ木綿類の單衣が一番宜しいと思ひます西洋の子供は他所行きでも洗へない地質のものは決して著せないと云ふ事でございませう。

春先きから夏にかけてはキャラコのような白い木綿類が最もよいと思ひます白地は汚れが目立ちますが洗ひ代へを作つて汚して歸つたら手まめにすぐ洗ふ様に致しませば入梅中でも大して困ることはないと思ひます。遊び易く洗ひ易くと申しますと洋服が一番よい様に思ひますが下著が完全でない他人にも自分にも迷惑になる様なことがござります。或西洋の方の遊していらつしやる幼稚園では獨人で用足しの出来ない者は入れないといふ規定ださうでございませうが、家庭の様な少數ではなく澤山のお子達がお集りになる所では一々人手を煩すようなめんどろなボタンなどは用ひず獨人で用を足し易い様に下著類の工夫をする事が大切だと存じます。又一方には下著の不完全な爲にお行儀悪くなり易く自由な運動のさまたげにならない様によく身體が被はれるやうにする事が大切だと存じます。それと幼稚園には入り

ますまでに心掛けて獨人で御不淨へ行く事が出来る様に慣らして置くといふ事も大切だと存じます。はきものも紐の靴よりボタンの半ぐつの方が自分で自由にもなりよいと思ひます、ごく小さい折にはゴムのオバシウスの小さい様なのを用ひましたが幼稚園時代になりますと運動がはげしくなりますからあれではとても保ちませぬ。

其の他家庭に居りますとあんまりいらぬ細い處まで注意が届きすぎて却て卑屈になりはしまいかとも思はれます。たとへば多くの方がさうお感じの様でござりますが幼稚園で少し驚きましたのは小さい人達が缺を使ふ事でござりました、家に居ります時は年をとつた人達なども危いからと云てもたせませんでした。幼稚園でお使はせになるのでそれから、かうすれば危いものと云ふ事をよく云ひ含めて持たせるようになりました、そしてさせないで懸念してゐた様な危険は伴はないといふ事を知るようになります。そして兎に角一人手離して出すのでございませうからそれに困らない様にする事を幼稚園には入ります前から心がけて準備させる必要があると思ひます。時にはお友達によつて白い紙が汚され

るといふ様な憂を持つ事もございますが、そうかと思つて友を避けると云ふ事は却ていけないと存じません。それより段々成人すればは入らなければならぬ社會の人と人との調和といふ事に就いて親自身が考へると同時に子供にも注意をしようと思ひます。

これは子供よりも子供の傍で心なく人の批評をする成人の方に責があるのでございますがよく日本の子供は小さいのに衣服などについての批評や非難をする事がございます。幼稚園時代までは母が萬能の時期であり殊に家に居りますと母ほどよい者はなく又偉いものはなく母が仕た事、母に著せられたものは誰も難じる事のないと確信して居りますのが、たま／＼友達から「ヤ、あんなものを著てゐる」など云はれますと子供はそれを強く受けて自負心を傷けられたような感じがございます。お母様は萬能だと思つてゐたのに、そうでない事實に出あつたといふ様な氣持ち。又お友達から笑はれるといふ事の苦痛、などが子供の心を大へんに曇らせます。これは親達が各自氣をつけて自分の子供で他人の子供を害さないように心懸ける事が大切だと存じます。誰が笑つてもかまひませんよと云てそれに堪へたせるといふ

事も酷であり、と申して云はるゝまゝに變へてやる事はなほさらよくございませぬしそれよりこれまで癖でちぎに人の批評を爲る成人の方が子供達の爲に自ら考へなければなるまいと存じます。幼稚園の建物やお室、家具等がもつと親しみ易く感じよくまごひの氣分があつたらばと云ふ様な事も思ひました。毎日幼稚園に通ふといふ往復の事が今まで家にはかした居た子供にとりましては新しい大きな出來事の一つになります電車に乗るなど云ふ事は衛生の方面から危険とも云はれますがこれを機會に人と人との交渉を教へるといふ事が出來ると思ひます、中学生などがお年寄が立つて居ても平氣で腰かけて本を讀んでゐるといふ様な個人主義にかたむかないように過日も日日新聞に載て居りましたが佛領にある獨逸文豪のお墓へ花をあげる事を獨逸の人が頼んで居たのが戦後の暴落で獨逸は花代が支拂へなくなつて困て居ますと佛人は花代は拂へる時が來たら頂きませう國同士の交渉は別として詩人其の人に恨みがある理ではありませぬから今迄通りにお花は捧て居りますから御安心なさいと申したそうです。何と云ふ人の心の暖さ。人と人との調和について幼稚園への往復は子供達にとつてよい實驗だと存じます。(文責在記者)

朝子供が學校に来ると、外套を脱ぎ、出来る丈自分で之を釘にかける。衛生局員が毎日出張して居て、室に入つてくる子供を見る。此檢視なければ子供は遊戯室に入れない事になつて居る。若し風邪を引く、たり、熱があつたりすると家庭に歸す。但し一寸とした病氣で學校で處置が出来るものならば、看護婦が之に手當をしてやる。

遊戯室に入ると子供は自分で棚や引出のある所へ行って好きな玩具を出して遊ぶ。此處では彼等の特質や特殊の能力や弱點を赤裸々に表はすので教師はそれを記録して參考資料とする。一時間許りの遊戯がすぎると、少し果物を與へる。大抵は蜜柑の汁を飲ませる。それから戶外遊戯に移る。或者は砂いぢりなし、或者はブランコなし、或者は輪をまわし、或者は車を引いて遊ぶといった様に種々のことをして、今度は晝食になる。晝食の少し前に圓形を作つて椅子に腰かけ、お囀や音楽を聞かせる。晝食は榮養専門家に依て獻立られたものを用ゆる。若し食物に對する好嫌があれば、それを充分に調査して、不合理な嫌ひに打勝つ様に誘導して行く。

アイオア大學のポールドウィンが米國兒童の發育の標準を設定して居るが、それと此學校の子供を比較すると非常に發育してゐる。それは主として榮養に注意した晝食と間食とを與へる結果である事は勿論である。

しかし學校だけの努力は家庭に於ける朝夕二回の食事で毀される虞れがある。それで毎週二回に母の會合を開き、各回に七人位の母親を招いて榮養資料の相談やら討論をする事になつて居る。晝食がすむと二階へ行って晝眠を行ふ。子供には各自専用の外衣と毛布とを用意してある。窓は開かれ子供は暖い様に被をかけられる。三時ま

では靜肅にする事を要求される大多數は熟睡し、すつかり元氣を恢復して目を醒まし、迎に來た親に挨拶をする用意をする。以上はパーマー、スクールの一日の仕事の主要であるが、同校には貧困の家庭からも、富裕の家庭からも、又知識階級の家庭からも亦無智の家庭からも子供が來て、身心共に種々の物質と遺傳とを有してゐるといふ事である。

〔「幼兒の研究」第一卷第六〇號久保良英氏「幼兒生活の側面觀」より〕

たゞ一人群におくれた子鳥を  
れぐらに塗夕づゝの影  
(K子)

## 梗概の説明

四月、五月、六月

### 一、衣類の要求と供給。

食料の供給に關した職業が暗示的玩具を、いごぐちに始められるように、衣類の職業は人形と人形遊びによつて、は入り得る。人形遊びには、本當の衣類の材料で作つた着物を要す人形、或は紙人形、又兩種類の人形も使用されるが兎に角子供の心を強く惹く問題は一である。

最初の必要は材料である。子供達は自分でそれを買ひに行く、次には裁ち方と仕立方である。

衣類を仕立るといふことが再び種々な商店——そこには材料ばかりでなく出來合の服もある——を暗示する。周圍の情況と場合に從つて百貨商や當物屋でもよい。

遊びと職業は子供達を織物の多くの種類に接觸させる。或子供にとつては其の興味は、毛や木綿の原料や又原料から織物に轉換する方法の方へ向けられ

る。之等の方法は、子供の經驗が判斷出來ない様な題目を幼稚園案の中に屢々含ませる事があるほど教師にとつては非常に興味あるものである。衣類に關する職業は附隨の意義として季節の戶外生活に關係を持つ。主題が春の日程の内である時には木綿の衣服や麥藁帽や日傘や日除帽の必要が強められる。又冬であるならば重い外套、帽子、指無手袋、手袋や脚絆が準備される必要がある。どちらの場合にも、人の必要を充たす要素として、商人は特に興味あり重要な人である。

### 二、社交活動と興味。

一年中どの季節よりも一番子供達が戶外に出られる時即ち晩春と初夏を通じて日程の主要なる興味は此の季節に關係ある活動と興味から選ばなければならぬ。

遊園と公園は夏の準備をする。他にも暗示した様に遊園或は小公園は社會生活の興味を目的とした仕事の最後の計畫である。

春先きは、窓ぎはの箱に植えた球根や蒔いた種に

日のあつた結果が注意される。規定に従て遠足が計畫されそれによつて子供達は草や木の芽や早咲きの野の花に表れる様な新生の兆を發見する。之等に於ける興味、詩や言語と同様に繪畫や剪紙によつて獎勵される。

鳥が歸て來る事に特別な注意をする事が必要であるとして其の土地特産の鳥を容易に認める事を助ける様に畫く事や會話や繪等で努力される。又子供達は學校の庭に鳥の爲に浴室ユツバを造つてそれに水を一ぱいにして置く。戸外の經驗は構成の原動力を充たす。

麥藁帽子や日除帽子は太陽の暑さ除けの爲に子供達に必要と爲り、花を摘み集める爲に籠が必要になり摘んだ花をいける爲に土の花瓶や鉢が必要になる。

年長兒が石彈や獨樂や凧を持って遊ぶ様に小さい子供達はそれと同じ玩具と同じ様な種類のものを風立つた晴れた日に持て遊ぶ爲に製る。

自然物、自然現象に附帶した之等の經驗に附加へて動物の世話をしたり。保護をしたりする活動が續けられる。幼稚園時代の子供は園藝といふ事をあまり深く爲るには年少すぎる。しかし彼等は或る草花や早く成熟する野菜の種を蒔く機會は持て居る。種

子は子供達に造られたり飾られたりした鉢や壺や函に蒔かれ所有の本能によつて興味を持ちつゞけるようにされる。その上實際の小さい鉢の植物の成長は、比較的離れた運動場に、生えるよりも一層明らかである。

それで春は種子を蒔き秋は球根を植えるといふ事は室の内外共に價値ある事である。五月に植えた大根とチンヤ菜は六月學校が終る頃には收穫される。之等又其他の種子類は秋のはじめに取り集められる。適當な教師の監督の下にある學校所屬の園庭がある場合には幼稚園の子供達は植物を植えたり世話をしたりする手助けが出来る。

その習慣に興味ある動物で我々の學校の教室近くで容易に世話の出来るのは金魚、カナリヤ、鳩、兎と雌鶏と雛鳥である。幼稚園の教師が雛鳥を増す事に成功したといふ事には多くの實例がある。或學校では母鶏と、かへす卵は教室の中へ持て來られた、そして子供達は樽の中の糞を裏返へして巢を造り、そこへ卵をならべて、母鶏が巢に就いてゐる間中毎日母鶏に餌を與へた。卵がかへる時に子供達の或ものは殻から出て來る可愛い雛を實際に見る。或る朝子



供達は殻の中の雛がピー／＼いふのを聞いた。全部がかへつてから子供達は大きな木片で遊び場を造る。母鶏と雛鳥は數週間教室の中に置かれ子供達はそれに必要な世話をする。その後外のとやに入れられる。やがて母鶏は又卵を生む。それ等は其の年の閉會のお集りの時に子供達が彼等のお母さん達に、チンヤ菜や卵のサンドウキッチや大根で御馳走をする時に使はれる。その大根やチンヤ菜は子供達が自分の庭から取りあつめたものである。

かように二三の動物の生活の形式を親しく知らせる機會は子供達にとつて單に數多くの種々の動物を紹介するよりも大切な事である——勿論種類や數の必要も怠つてはならないが——。

メイデイ、イースター、の如き季節の祭禮は特種な風潮として認められるべきである。春のはじめにイースターが來て以來それに就いての連想は、新生といふ事である。此の季節は期待の季節である。

メイデイは、聖バレンティンの様に、おどろかせる時である。其の日は近隣の人達や友達を樂ませる爲に祝はるべきである。お隣の戸口に花籠をさげるといふ古來の習慣は永續させてよい習慣の一つであ

る。その爲に教室の戸口にも他の家の戸口と同じ様にされる。

## 効果

効果は學期に於ける日程の種々の活動——手工、言語、繪畫、遠足等——によつて廣く實現されてゐるので之等の種々の活動から切り離して説明する事は、漠然とした言葉以外には困難な事である。次に概説せらるゝ様な一年の仕事は子供に對する價値に基かねばならぬ。

### 1、態度、興味、趣味。

之等の自然環境及社會の形勢に於てもつと廣く、もつと智識的な興味は要目の内容に含まれて居る。新しい經驗に對する熱心な受身の態度は、新しい興味的發展の結果として來す。

### 2、習慣、熟練。

經驗を説明し或は組織立てる爲の能力を増進した事。自己を社會の狀態に適合させる能力を増進した事。述べられた思想と實行の連續に集中する能力に依て示された注意力の増進した事。

### 3、學識、斷片的な智識。

家庭、近隣の活動及注意される自然物と自然現象

に關した重要な資料。  
之等の活動の或物に含まれた道德價値と社會關係  
の實現。

## 第三章

### 製作

材料を以て試みようとする衝動は幼年初期時代の最も強い衝動である。其の衝動は初めは、材料や目的物をなぐさみに弄ぶといふ形で表現される。各材料が其の性質に従つて暗示を與へるので子供達はそれに依て各々の特別な物や材料に就いての更に進歩した可能性や特質を發見する。子供達はまもなく、自分の考を發表し、目的物を造る爲に材料を使用しはじめる。

#### 一般標的

環境を支配する事から來る力の感じを鼓舞する爲め。目的に向ての根氣と豊富な工夫と能力とを増進する爲め。

周圍を支配する方法及び理解の方法と經過を與へる爲め。

#### 特種標的

材料を試る事に依て子供の實驗しようとする希みを満足させ、かくして彼等の所有物に親しみます爲。藝術、工業の初歩へと、子供達を助け進みます爲。共同の目的の爲に他人と共に事をする能力を増す爲。

#### 主題

よく選ばれた種々の玩具や遊び材料を家庭で持つる四歳位の子供は、幼稚園の材料を大層早く用ゐはじめる——模倣的な遊び或は構成的な遊びで——。不幸な位置に居た子供達は不充分であつた遊びと構成的な本能を獎勵する爲に多くの暗示的玩具を要する。例へば前者に屬する家庭から來る子供は殆ど直ぐに學校内の木片で自分の爲に又は人形の爲に、椅子やベッドを造る事に興味をもつが、後者に屬する家庭の子供は人形、おもちゃのベッド、椅子等を持つて遊びをする時を要する又上に暗示した様に木片で實驗する時を要す。

多くの子供の、材料を用ひての自然な構成の遊びは彼等が周圍の成人の活動を模倣したり、再現したりする試みの結果である。下に記載した玩具は、幼

稚園の子供にとつて創造の價値あるものとせられた、社交的置位を暗示し家庭や近隣の活動を代表する遊びへと導き、構成に自然な子供らし働きを與へるように基礎づけられたものである。

### 玩具

大小の人形。人形の家具。おもちゃの家。おもちゃの動物。おもちゃの器具。

大小の人形は直に子供の心を惹き又は非満足されなければならぬ人類家族の各員を代表する。一年を通じての多くの問題は人形に、家や家具や車や、汽車やステーションや衣類、食物の準備をするといふ事から生じて来る。子供達が人形の家族の必要を充たさうと準備する時に、それと同じ様な必要に彼等自身の家族の人達がした方法を、更に明確に意識する様になる。若し子供達が家を造たり衣服を拵へたりその他種々の事をする爲に各自小さい人形を持って居れば仕事と遊びは目的のあるものとなり又趣味深いものとなる。

人形の家具、ベッド、椅子、テーブル、箆筒、戸棚、車は、木工の處で説明した様に子供達で造る事が出来る。舞臺は室の一隅を使って窓や蝶つかひのあ

る戸の附いた、ついたでしきりをすれば出来る。之は装置の必要な部分といふのではないが構成や家事遊に大層よい動機を造る。

おもちゃの器具は家庭生活に關した遊びを奨励し、子供に構成といふことについての考を暗示する。

おもちゃの動物は家、かこひ、食物其の他のもの必要を暗示し、かくして遊びをする爲に材料と構成の力を供給する。

おはつうの紅緒の足駄が嬉くて

あるいて歸る雨の横

K 子

## 幼稚園 家庭用 彩色畫帖刊行

一、神戸の公立三幼稚園に試みた、ヌリ繪は比較的  
に好成绩を得たと思ひますから今回之を集めて  
出版致しました。

二、四月の新學期より始めて毎週約一枚一ヶ年分を  
編輯いたしましたから、各幼稚園及び家庭に御  
試用下さいます事をお勧め致します。

三、此畫帖は畫用紙八ツ切畫數四十六枚綴のもの上  
下(五六歳用)二冊と致しました、定價は各金四拾  
錢(送料實費)でお頒げ致します。

四、御入用の方は左記へ部數御申込下さい

神戸市北長狹通六丁目神戸幼稚園内

神戸保育研究會事務所

附 彩色畫は豫め選びました澤山の畫を一つ／＼子供にぬ

らせて最も子供よろこびますものをとりました。

練習の難易、色の順序及び季節等をも考へて配列致し  
ました。

子供の意志は、成人の誤りで損ひさへしなければとんでもない事  
をするものではない。

自分で遂ぐる丈の力を持たない要求には注意しなければならぬ。  
眞の自然的要求と、うわつらの我ままな要求(或は又單に活力の旺  
溢から來る要求)とをよく注意して區別しなければならぬ。

(ルソ)

## 會 告

○會費御拂ひ込みの節は御名前初め御入會の時の御名前と同じにして頂きたう存じます。例へば初め幼稚園にて御入會になり、後個人の御名前にて會費御拂込み等のことなき様に願上ます。整理上甚だ煩雜致しますから。

○會費未納は會計整理の上に甚だ困難致しますから確實に御納付下さいまし。向後萬一御不納久しきに亙ります場合は乍遺憾雜誌發送を停止致します。

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願ひます。

○萬一本誌不着等のことがございましたら直に御一報煩したう存じます。

### 本誌定價

一冊(郵稅共)金貳拾五錢 六冊 前金壹圓五拾錢  
十二冊 前金 參 圓 (郵券代用壹割増)

### 購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

大正十二年三月十二日印刷  
大正十二年三月十五日發行

東京市外中野町千光前三〇三〇番地  
編輯兼發行者 倉 橋 惣 三

東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印刷者 柴 山 則 常

東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印刷所 合發 杏 林 舍

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

◆書要必き可ふ備に園稚幼◆

東京帝國大學 文學士 上村福幸先生著

紙數八五〇頁 插畫凸版數十個 入背皮 索引附函 入美本

# 知能測定法

組トシイホ部全  
錢拾參圓五金價正  
錢七拾貳料送留書

兒童教育の要は兒童各自の知能に應じ、學がらざるは勿論兒童をして終生其能一書を公にし統計圖表等を盛に掲げて、且つ其の知能を最も有効に増進するに、論じしめずと、限らず著者は目下帝大、實地指導ならしめんと、一期せり其知能の測定に頗る困難事、教育學研究室に在りて東西の典籍を涉へ得らるべし、何に精細なる研究の決果たるや大方考にして精密緻細の注意を有するものな、獨し今最近の研究を一括して彰大なるへ得らるべし、紙數約四〇〇頁 插畫凸版數十個 入東京日本橋 病院長醫學士 竹内薰兵先生著

紙數約四〇〇頁 插畫凸版數十個 入琥珀上製美本 函入

(版再ち忽)

# 實愛兒の育て方と 驗病氣の手當

全 部 振 假 名 付  
正 金 貳 圓 參 拾 錢  
送 料 貳 拾 錢

日本は世界各國中小兒の死亡に對する一番多いと云ふて居りますが、我國あると著者は申して居ります、竹内先生は十數の婦人は小兒の病氣及治療に對する手當等の知識があまりになさすぎ、年間の實驗から得て本書を現はされたのです、まず、子供は大部分母親や諸姉が斯道の知識に乏しいから、眞に子供を愛する御婦人方に御薦め致します

◆良友主筆 濱田廣介著 童話椋鳥の夢 (文部省圖定) 二十二篇より成る插畫入葉入川上畫伯筆美本 價金貳圓送料全錢 函入ポイント組・琥珀上製美本 頗る美本

◆法學士石井滿著 愛と女性を中心として

送料拾貳錢

東京市神田區 永富町八番地 教育研究會 振替 八八一〇 座番

明治三十四年一月二十八日第三種郵便物認可(毎月一回十五日發行)  
幼兒教育 第二十三卷 第三號 大正十二年三月十五日發行  
印刷所 合資會社 杏林會